

アパレル ゼロ・ウェイスト認証制度

審査結果通知書

登録番号: AP_4

店名: シサム工房(全店)

所在地: 京都府京都市左京区田中西樋ノ口町94-2

発行日: 2025年8月27日 有効期限: 2027年8月26日

審査機関: 一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン

認証要件:

- ゼロ・ウェイスト活動に必要な知識を備えており、そのための人材育成を行っている — OK
- 適切なごみの分別、資源化を行っている — OK
- ゼロ・ウェイスト活動を継続的に発展させていくための計画が組まれている — OK



認証

配送時は繰り返し使うことのできる資材やより簡易的な包装とすることでごみの発生を抑制している。

コンテナ配送や、ダンボール・梱包材の再利用が継続されており、仕入れの段階でごみが出ないよう工夫がされている。また、お客様への配送や店舗間の配送にはリユース袋等を活用しており、継続的発展が見受けられて良い。



認証

店がお客様に提供する“サービス品”から使い捨て品を出さない、もしくは削減に取り組んでいる。

紙袋をお客様から回収しリユースしている。ラッピングの選択肢の紹介を工夫し、ショップカードや傘袋などは提供していない。前年より取組を強化しており発展が見られて非常に良い。



認証

日常の業務で使用する紙類、備品の削減や代替品の使用により、ごみの発生を抑制している。

タグにQRコードを導入することでタグ枚数を削減。廃盤品タグを展示会で再利用するなど廃棄を出さない工夫を徹底している。一部店舗でリユースできる掃除器具の活用やレシートの裏紙活用などがあるが、全社として取り組めるとなお良い。



認証

事業者及び従業員がゼロ・ウェイストについて理解し、自身が出すごみを削減していくために具体的な取り組みをしている

本社事務所や一部店舗では個人ごみは持ち帰る方針を徹底している。マイボトル持参や弁当箱持参なども習慣化が進んでいる。全店舗におけるごみの量の記録・ごみ監査を実施するなどごみの可視化がなされている。



認証

そのまま放置するとごみになるような未活用資源や、修理・リサイクル可能な資材を店舗に取り入れている。

商業施設等内の店舗であっても什器や資材等に古材・古具等が活かされており、多くのものが修理や塗装を繰り返して長年使われている。また、そうした什器等には木材や金属など再利用・資源化がしやすい素材が使われている。



認証

リサイクル素材やアップサイクルを活かした製品を積極的に店舗で取り扱っている。

工場で発生する端材やデッドストックの生地などを活用した商品開発に積極的に取り組んでいる。救出可能な素材を活用した製品開発と、顧客へのコミュニケーションを継続しており非常に良い。



認証

長く使えるように製品の修理、メンテナンスできるサービスが整っている

アクセサリーは一部預かり修理サービスを行っている。商品のより長い利用を目指し、商品開発段階でゴム替え口をつける工夫をしている。古い製品には黒染めを案内するなど、取組が増えており高く評価できる。



認証

製品が使い捨てにならないような仕組みを取り入れている。

在庫は廃棄せず、翌シーズンに持ち越したりアウトレットとして販売している。全店舗で古着を回収し、リメイクや寄付するプロジェクトが進んでおり、製品の廃棄削減に積極的に取り組んでいる。



認証

利用者がゼロ・ウェイストについて知り、取り組みについて参加できる仕掛けがある。

店舗でWSの開催や、利用者を巻き込んだ取り組みを世界的なキャンペーン期間に絡めて実施している。自社製品の古着回収をはじめ、コンタクトレンズの回収など、顧客を巻き込んだ様々な取組も積極的に企画・提案されている。